

## 環境・農水常任委員会 県外行政調査

1 調査日 平成 29 年 11 月 8 日（水）～10 日（金）

### 2 調査の概要

11 月 8 日（水）

（1）国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会、荘園の里推進委員会（大分県豊後高田市）

調査内容：世界農業遺産の取り組み等について

同協議会は、平成 25 年 5 月の世界農業遺産認定以降、「伝統的な農林水産システムの次世代への継承」と「世界農業遺産ブランドを活用した地域の元気づくり」を柱に様々な取り組みを実施している。

また、同委員会は、荘園の中心をなす水田や山林の景観をはじめ、地域資源を活用して都市と農村の交流による地域おこしを図っており、国東半島宇佐地域の景観保全を含む地域活性化に取り組んでいる。

本県においても、平成 31 年度の世界農業遺産の認定を目指して取り組みを進めていることから、今後の参考とするため同協議会および同委員会の取り組みについて調査を行った。

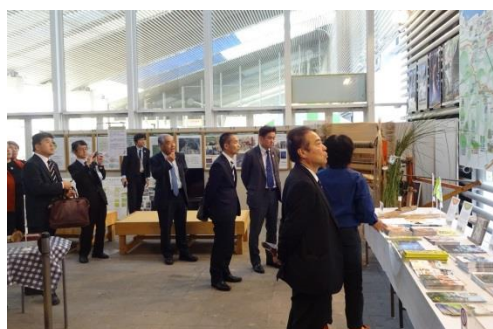


（2）大分農業文化公園（大分県杵築市）

調査内容：世界農業遺産の情報発信について

同公園は、国東半島宇佐地域に車で訪れる方が世界農業遺産を学習するための入口の施設として、世界農業遺産の情報コーナーを充実させ、世界農業遺産の情報発信施設の役割を担っている。

本県においても、平成 31 年度の世界農業遺産認定を目指して現在取り組みを進めていることから、世界農業遺産の効果的な情報発信の状況や課題について参考とするため、同施設について調査を行った。



11月9日（木）

（3）くにさき七島藺振興会（大分県国東市）

調査内容：七島藺表の再生に向けた取り組みについて

同振興会は、大分県国東地方だけで生産されている植物である七島藺でつくる畳「七島藺表」の再生のため、平成22年に設立された。七島藺表は350年の歴史をもつ大分県の伝統産業であるが、平成21年には消滅の危機にさらされたため、同振興会では七島藺再生に向けて、七島藺生産農家の生産拡大や所得向上の取り組み、集落営農などの新規参入を積極的に受け入れるなどの活動を行っている。

本県においても、滋賀県独自の貴重な農水産物があり、技術の伝承、担い手の確保などの課題を抱えていることから、今後の参考とするため同会の取り組みについて調査を行った。



（4）株式会社グリーン発電大分（大分県日田市）

調査内容：山林未利用材を活用した木質バイオマス発電について

同社は、林業の生産活動において発生する山林未利用材を活用した木質バイオマスチップを燃料とするバイオマス発電を行っており、地域の未利用森林資源を活用し、地域林業の振興による雇用創出にも力を入れている。

本県においても、平成28年度策定の「林業の成長産業化アクションプラン」では木質バイオマスのエネルギーの利用促進による新たな木材需要の創出を掲げており、その参考とするため当該施設での取り組みについて調査を行った。



11月10日（金）

（5）福岡県議会（福岡県福岡市）

調査内容①不法投棄マッピングシステムについて

同県では、不法投棄の早期発見等のため、県や警備会社への委託による休日や夜間のパトロールで発見された不法投棄の場所を、デジタルカメラのGPS機能を活用して電子地図にマッピングするシステムの運用を平成28年度から開始し、市町等関係機関と情報共有している。

本県においても、旧アール・ディエンジニアリング最終処分場の不法投棄事例以降、監視体制を強化しており、今後の参考とするため当該システムの取り組みについて調査を行った。

調査内容②就農マッチングセンターについて

同県では平成28年度から、県庁内に「就農マッチングセンター」を設置し、雇用就農希望者の就農にあたっての希望を把握するとともに、心構えや農村での生活などを伝えるため、当センターでの直接面談や、農業法人等でのインターンシップを実施している。

本県においては、主に公益財団法人滋賀県農林漁業担い手育成基金が新規就農者を支援する取り組みを行っているが、今後の参考とするため県直営である当センターにおける取り組みや課題について調査を行った。

